

群馬県鉱工業指数 令和7年7月分

1. 公表内容

7月の鉱工業生産指数（季節調整済）は、化学工業などが上昇したことから、3か月ぶりのプラスとなった。

○概況

生産、在庫は上昇、出荷は低下で推移

◆7月の主な数値の動向（調査産業計）

（令和2年＝100）

	季節調整済指数			原指数		
	総合指数	前月比(%)		総合指数	前年同月比(%)	
生産	116.4	10.6	3か月ぶり＋	123.5	6.6	3か月ぶり＋
出荷	98.2	▲6.3	2か月ぶり－	110.3	▲8.2	2か月ぶり－
在庫	170.6	15.3	2か月ぶり＋	173.4	19.9	4か月連続＋
在庫率	145.2	9.5		144.6	18.3	

○生産指数は、季節調整済指数で、3か月ぶりのプラス、原指数で、3か月ぶりのプラスとなった。

○出荷指数は、季節調整済指数で、2か月ぶりのマイナス、原指数で、2か月ぶりのマイナスとなった。

○在庫指数は、季節調整済指数で、2か月ぶりのプラス、原指数で、4か月連続のプラスとなった。

○総合指数前月比の伸び率（上昇又は低下）に影響を与えた主な業種

（）内は前月比

<生産>上昇：化学工業（130.3%）、生産用機械工業（59.4%）

<出荷>低下：輸送機械工業（▲13.2%）、業務用機械工業（▲62.4%）

<在庫>上昇：化学工業（29.0%）、汎用機械工業（5.6%）

○前月比が最も大きかった業種

<生産>上昇：化学工業（130.3%）／低下：業務用機械工業（▲73.5%）

<出荷>上昇：生産用機械工業（25.5%）／低下：業務用機械工業（▲62.4%）

<在庫>上昇：情報通信機械工業（34.9%）／低下：その他製品工業（▲7.0%）

2. 事業の概要

【目的】

県内の鉱業、製造業等の事業所における生産量、出荷量、在庫量の動態を調査し、指数化することにより、県内の産業活動の状況を総合的に把握し、景気動向の分析等のための基礎資料とする。

【作成方法】

令和2年（2020年）を基準年として、その鉱工業製品の1か月当たりの平均生産量、出荷量、在庫量を算出し、各品目の基準時ウェイトで加重平均して指数化する。

【各指数の品目数】

- ・生産指数・・・171品目
- ・出荷指数・・・164品目
- ・在庫指数・・・91品目
- ・在庫率指数・・・84品目

《参考事項》

- ・季節調整済指数…1年を周期として季節が要因となり起こる変動（季節変動）を取り除いた指数をいう。
- ・原指数…季節調整をしていない指数をいう。

3. 次回公表予定

令和7年10月末（令和7年8月分）

令和7年7月分

○総合指数前月比の伸び率に影響を与えた主な業種・品目

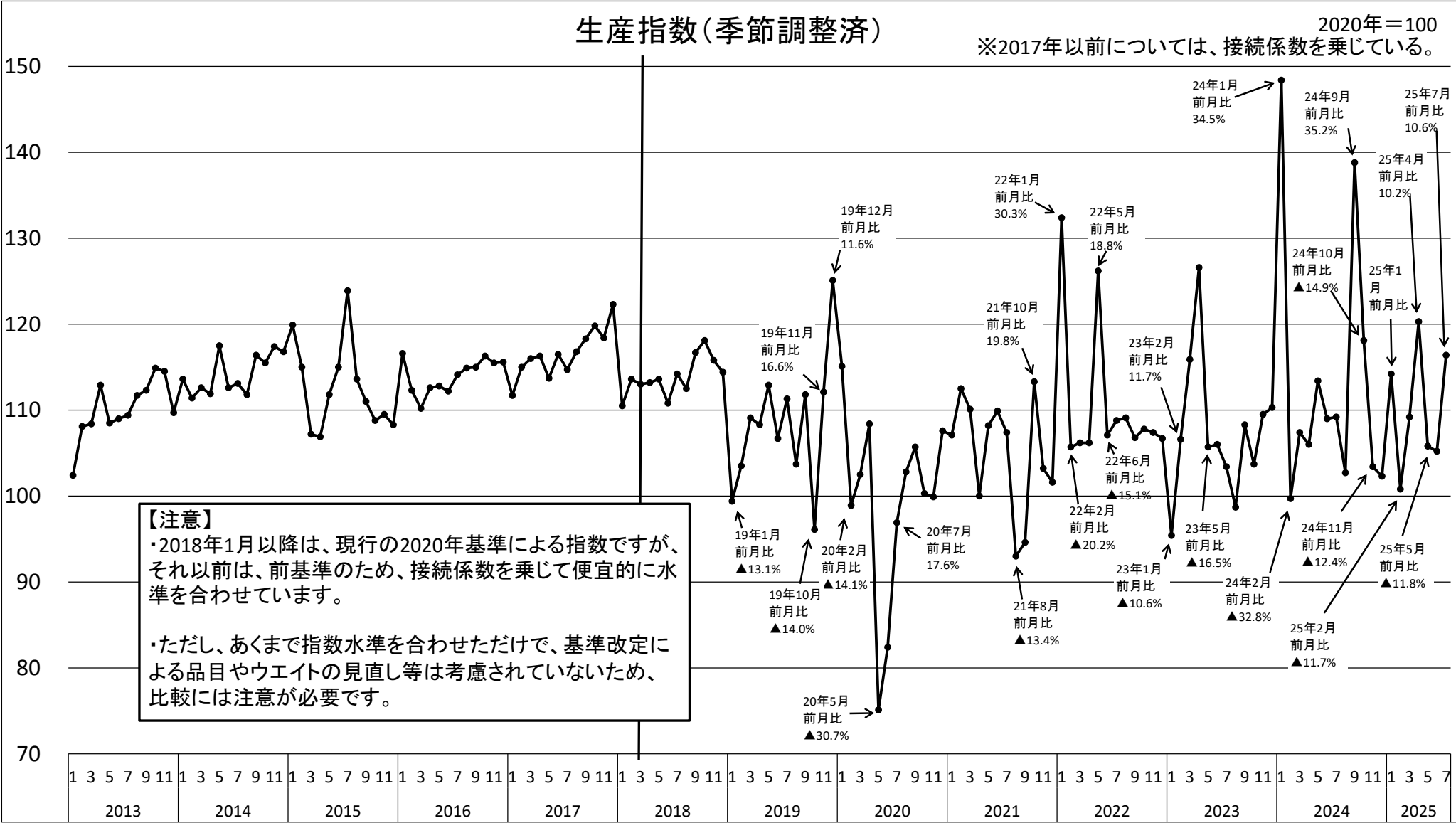
		業 種	前月比 寄与度	前月比%	寄与した主な品目	
生 産	上昇	化学工業	17.9	130.3	医薬品製剤	
		生産用機械工業	1.4	59.4	金型	半導体製造装置用関連装置
		電気機械工業	0.8	7.4	半導体・IC測定器	開閉制御装置
	低下	業務用機械工業	▲ 5.2	▲ 73.5	娯楽機器	
		輸送機械工業	▲ 2.7	▲ 11.2	普通乗用車	排気管・消音器
		プラスチック製品工業	▲ 0.4	▲ 4.9	プラスチック製機械器具部品	
出 荷	上昇	生産用機械工業	0.7	25.5	金型	半導体製造装置用関連装置
		汎用機械工業	0.3	7.8	コンデンシングユニット(7.5kW以上)	吸収式冷凍機
	低下	輸送機械工業	▲ 4.8	▲ 13.2	普通乗用車	排気管・消音器
		業務用機械工業	▲ 4.2	▲ 62.4	娯楽機器	
在 庫	上昇	化学工業	12.3	29.0	医薬品製剤	
		汎用機械工業	0.6	5.6	コンデンシングユニット(7.5kW以上)	ショーケース冷凍機内蔵型
		業務用機械工業	0.5	23.7	自動販売機	
		非鉄金属工業	0.5	31.7	電気垂鉛	
		電気機械工業	0.4	6.2	自然冷媒ヒートポンプ式給湯機	
	低下	生産用機械工業	▲ 0.7	▲ 5.9	研削盤	ショベル系掘削機械
		プラスチック製品工業	▲ 0.1	▲ 1.4	プラスチック製容器	プラスチック製パイプ

(注)寄与した主な業種・品目の掲載順序は、上昇、低下とも寄与の大きい順である。一部秘匿あり。

○前月比が最も大きかった業種

		業 種	前月比 寄与度	前月比%	寄与した主な品目
生 産	上昇	化学工業	17.9	130.3	医薬品製剤
	低下	業務用機械工業	▲ 5.2	▲ 73.5	娯楽機器
出 荷	上昇	生産用機械工業	0.7	25.5	金型
	低下	業務用機械工業	▲ 4.2	▲ 62.4	娯楽機器
在 庫	上昇	情報通信機械工業	0.2	34.9	ボタン電話装置
	低下	その他製品工業	▲ 0.1	▲ 7.0	マーキングペン

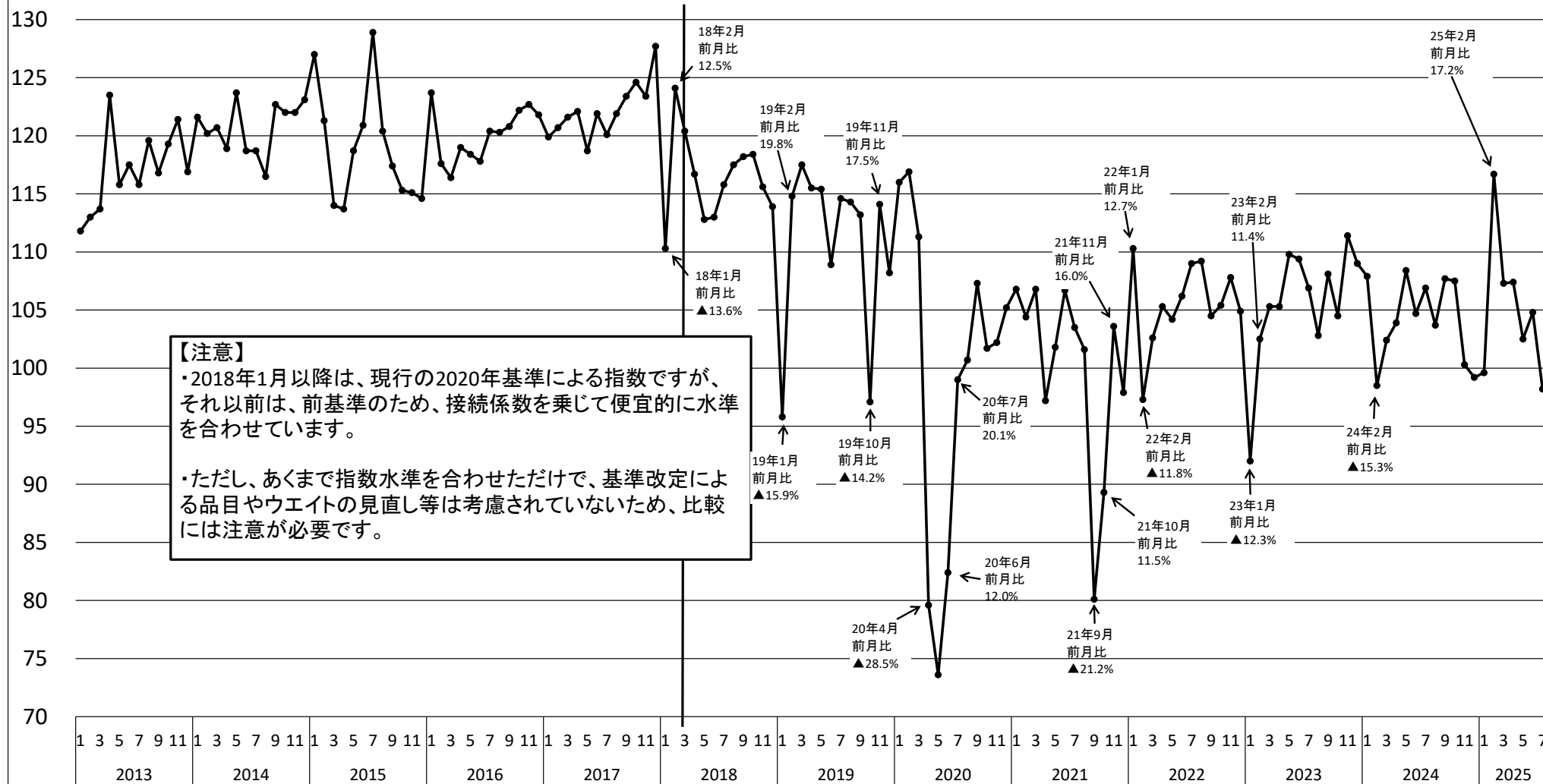
○群馬県鉱工業指数の動き



2015年基準:2013年～2017年 2020年基準:2018年～2022年 2025年基準:2023年～2027年(予定)
※2023年以降の指数については、2025年基準改定(2028年度頃実施予定)の際に、2025年基準で遡及して再計算する予定です。2025年の基準改定までは、2020年基準による指数を作成します。

出荷指数(季節調整済)

2020年=100

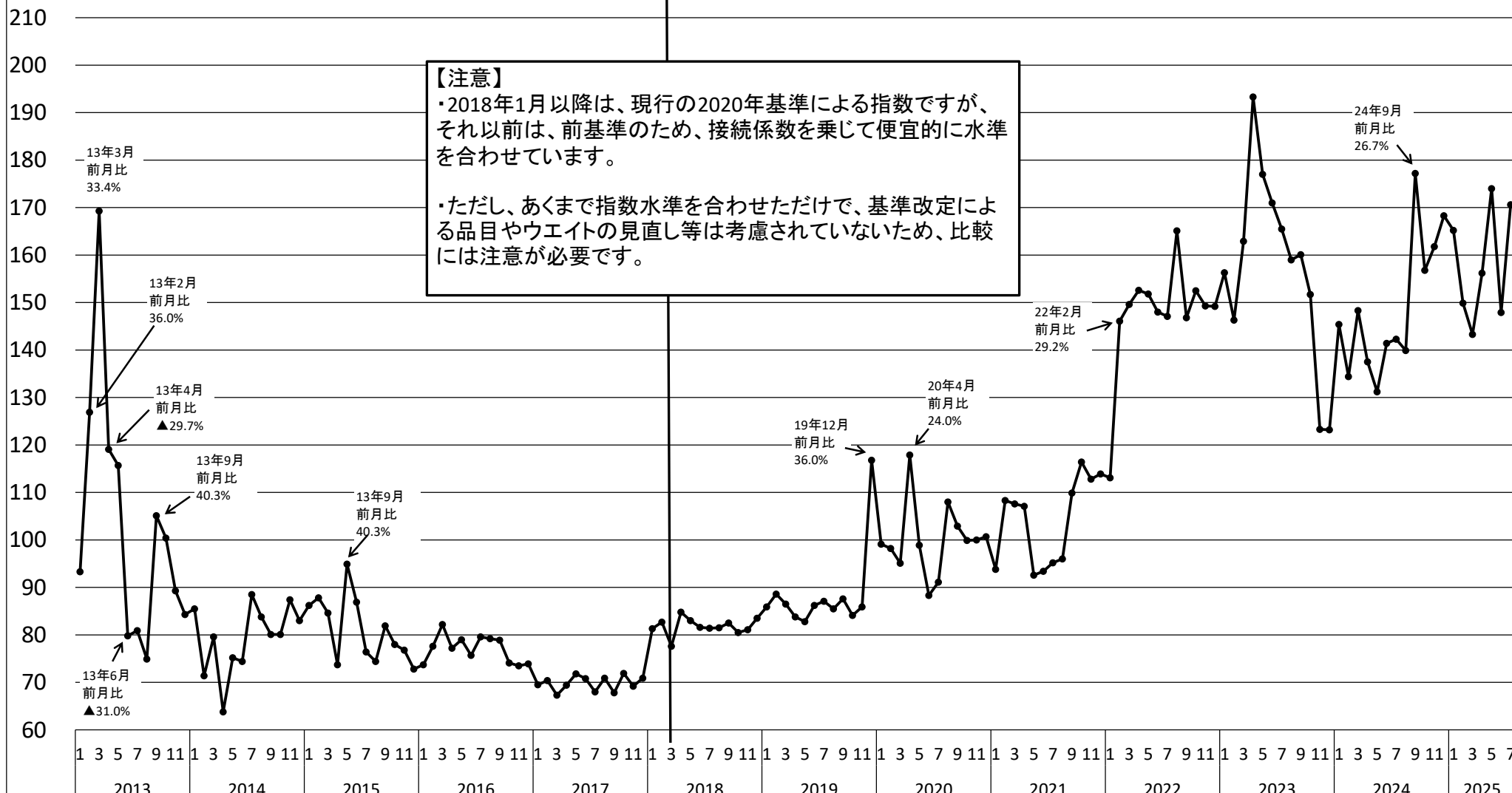


2015年基準:2013年～2017年 2020年基準:2018年～2022年 2025年基準:2023年～2027年(予定)

※2023年以降の指数については、2025年基準改定(2028年度頃実施予定)の際に、2025年基準で遡及して再計算する予定です。2025年の基準改定までは、2020年基準による指数を作成します。

在庫指数(季節調整済)

2020年 = 100
※2017年以前については、接続係数を乗じている。



2015年基準: 2013年～2017年 2020年基準: 2018年～2022年 2025年基準: 2023年～2027年(予定)

※2023年以降の指数については、2025年基準改定(2028年度頃実施予定)の際に、2025年基準で遡及して再計算する予定です。2025年の基準改定までは、2020年基準による指数を作成します。

○ 全国・関東経済産業局との比較

2020年=100

